

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-191491

(43) 公開日 平成9年(1997)7月22日

(51) Int.Cl. <sup>8</sup>	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 Q	7/38		H 0 4 B 7/26	1 0 9 T
H 0 4 M	1/02		H 0 4 M 1/02	C

審査請求 未請求 請求項の数1 OL (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平8-1164

(22) 出願日 平成8年(1996)1月9日

(71) 出願人 000006633

京セラ株式会社

京都府京都市山科区東野北井ノ上町5番地の22

(72) 発明者 田中 亨

神奈川県横浜市都筑区加賀原2丁目1番1号 京セラ株式会社横浜事業所内

(72) 発明者 須田 和良

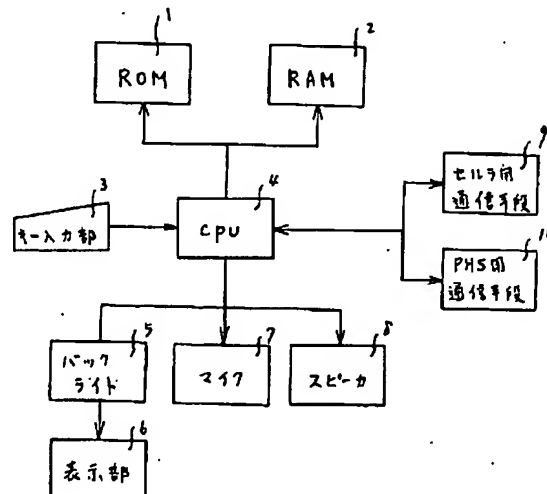
神奈川県横浜市都筑区加賀原2丁目1番1号 京セラ株式会社横浜事業所内

(54) 【発明の名称】 セルラー／PHS携帯電話装置

(57) 【要約】

【課題】 2以上のシステムと送受信できる電話端末のときには表示部のバックライトの色で識別する。

【解決手段】 本発明は所望の通信システムを選択するために、キー入力部から識別コードを入力すると、バックライトに選択されたシステムの色表示が行なわれるので、容易に判別することができる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 操作者が操作入力するキー入力部と、そのキー入力部からの入力データを表示する表示部とを備え、セルラー基地局を介して通話するセルラーモードとPHS基地局を介して通話するPHSモードとを切り換えて行えるセルラー／PHS携帯電話装置において、該セルラーモードと該PHSモードとを選択するための選択手段と、該選択手段で選択されたモードにもとづいて該表示部のバックライトの表示色を切り換えることを特徴とするセルラー／PHS携帯電話装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はセルラー／PHSモード等の複合機において、それらのモードにもとづいてテンキーや発信キー等のLEDまたは表示部のバックライトの色分けをするセルラー／PHS携帯電話装置に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来のセルラー／PHS携帯電話装置においては、どのモードに設定されているかをユーザに知らせるための手段として、特開平6-326655号で開示されているようにリンガー音の違いによって聞き分けていた。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 従来のセルラー／PHS携帯電話装置にあっては、相手側からの発信音を聞いたときに始めてどのモードに設定されているかが分かるために、自分の方から発信するときにはどのモードに設定されているかは分からなかった。

【0004】 また、自動的に切り換わるシステムの場合、ユーザは現在、どちらのモードになっているのか表示内容を確認しなければならなかった。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明はこれらの課題を解決するためのものであり、操作者が操作入力するキー入力部と、そのキー入力部からの入力データを表示する表示部とを備え、セルラー基地局を介して通話するセルラーモードとPHS基地局を介して通話するPHSモードとを切り換えて行えるセルラー／PHS携帯電話装置において、該セルラーモードと該PHSモードとを選択するための選択手段と、該選択手段で選択されたモードにもとづいて該表示部のバックライトの表示色を切り換えるセルラー／PHS携帯電話装置を提供する。

## 【0006】

【発明の実施の形態】 以下、本発明の実施例について図面を用いて説明する。図1は本発明のセルラー／PHS携帯電話装置のブロック図であり、図2は本発明のセルラー／PHS携帯電話装置のフローチャートである。図1において、3はデータを入力するためのキー入力部、2はそのキー入力部3からのデータを格納するためのR

AM、1は本発明の動作制御するプログラムが格納されているROM、4はそのROM4に格納されているプログラムを制御するCPU、7は音声を入力するためのマイク、8は音声を出力するためのスピーカ、6はデータを表示する表示部、5はその表示部5を暗い場所でも表示できるバックライト、9はセルラ用通信手段、10はPHS用通信手段とから構成されている。図1および図2にもとづいて動作説明を行なう。キー入力部3から所定のコードが入力されたときには、そのコードに対応してセルラ用通信手段9が選択されたりまたはPHS用通信手段10が選択されたりするようにシステムで決められている。例えば、セルラ用通信手段9の識別コードを"ABC"、PHS用通信手段10の識別コードを"XYZ"としたとき、ここで、ユーザが通信コストが安いPHS用通信手段10を選択したいときキー入力部3から"XYZ"と入力すれば、入力された識別コードとシステムに予め登録されているコードとの間でデータの比較が行なわれる(ステップ10)。そして、その識別コードが一致したときには図2で示されるようにバックライトに緑色の表示が行なわれる(ステップ20)。次に、セルラ用通信手段9を選択したいときには、キー入力部3から識別コードの"ABC"を入力すれば、入力された識別コードとシステムに予め登録されているコードとの間でデータの比較が行なわれ(ステップ10)、その識別コードが一致したときには図2で示されるようにバックライトに赤色の表示が行なわれる(ステップ30)。また、電話番号や位置情報などから自動的に切り換わる場合、CPU4が判断してバックライト5の色を切り換えることが可能である。さらに、セルラ用通信手段9またはPHS用通信手段10の検出器を使用すれば、その検出器を用いて自動的にシステムが切り換わり、また、その切り換わったモードにしたがってバックライト5の色を切り換わる。

## 【0007】

【発明の効果】 以上のように本発明によれば、バックライトの色を見るだけでセルラ用通信手段を用いて送受信しているのか、PHS用通信手段を用いて送受信しているのかの判別が容易にすることができる。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明のセルラー／PHS携帯電話装置のブロック図である。

【図2】 本発明のセルラー／PHS携帯電話装置のフローチャートである。

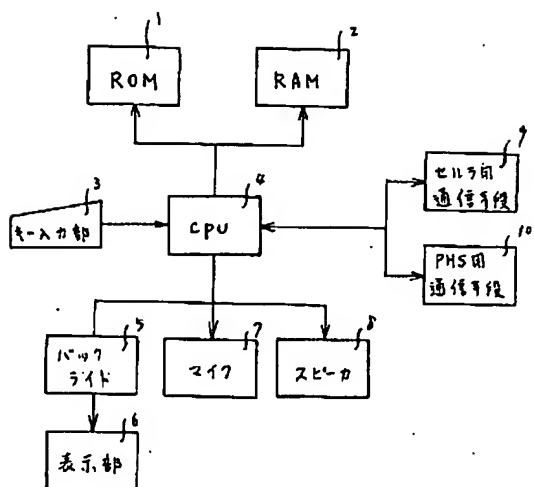
## 【符号の説明】

- 1 ROM
- 2 RAM
- 3 キー入力部
- 4 CPU
- 5 バックライト
- 6 表示部

7 マイク  
8 スピーカ

9 セルラ用通信手段  
10 PHS用通信手段

【図1】



【図2】

